

# 岐阜農林事務所の普及活動状況

平成25年2月28日現在

## 今月の重点活動

### ■家族経営協定 家族の約束、役割、やりがい

2/21、2/25に岐阜市で酪農家、水稻農家の家族経営協定が締結された。

立会人には、岐阜農林事務所、岐阜市農林部、岐阜市農業委員会の関係者が出席した。

協定には、役割分担、休日などが記載されており、農業普及課では、意欲とやりがいを持って魅力的な経営に向けて、指導を行う。



【立会人とともに】

## 活力ある新産地づくり

### ■品目・指導対象等 アスパラガス・第4回アスパラ塾を開催！

2月1日、JAぎふ正木店において塾生8名が集まって、「第4回アスパラ塾」を開催した。

今回は、農業普及課からの「保温から収穫、出荷調整まで」について講義と、春芽準備中の現地ハウスを見学して、収穫の方法を学んだ。



【室内講義の様子】

## 売れる農畜産物づくり

### ■えだまめ 25年産「岐阜えだまめ」の播種始まる！

25年産えだまめの播種が2月1日から始まった。順調に生育すれば、4月下旬に初出荷を迎える。きめ細やかな栽培管理を徹底し、高品質な岐阜えだまめの出荷を目指す。今年は新品種を導入し、出荷量1,100tを目標に生産意欲をもやしている。

農業普及課では、JAぎふえだまめ部会員を対象に、各地で栽培研修会を実施。栽培管理の徹底や記帳に関する注意喚起等を行った。



【えだまめは種作業】

### ■にんじん 春夏にんじん播種作業進む

各務原市では、5月からの収穫に向けた春夏にんじんの播種が12月～3月まで行われています。発芽に時間（約3週間）のかかるにんじんは、この時期トンネル被覆でしっかり保温を行い、その後間引き作業等を経て、来たるべき収穫に備えます。

### ■ブロッコリー 初夏穫りブロッコリー栽培研修会開催

1/23、JAぎふでは初夏穫りブロッコリー栽培研修会を開催し、春ブロッコリーの生育特性や栽培管理について指導した。秋冬穫りの栽培技術をもとに、直売所向けとしてH23年に始まった取り組みであるが、H24からは市場出荷も行った。

今年度は岐阜市、羽島市、山県市で約75aの作付けが見込まれ、3/22には種作業が行われる。

## ■かき 間伐推進中！

管内の各かき産地ではせん定作業がピークを迎え、次年度に向けた準備が進められている。㊦柿振興会では、例年より厳しく審査している。普及課では再検査に向けた指導を進めるとともに、3月に全体研修会を実施予定。

また、北方町園芸振興会柿部会では、間伐検査を基準試案を用いて評価し、全生産者にコメントを返した。合格率7割程度だった。今後、瑞穂市柿振興会、岐阜市かき共販振興会が順次検査を実施する。



【間伐目揃え会】

## ■小麦 小麦の分けつすすむ

11月上旬に適期播種された麦の生育は、草丈はやや低めであるが分けつは進んできている。縞萎縮病と思われる圃場が一部散見されており、農業普及課では黄化が目だつ圃場について生育量の確保のため追肥指導をしている。

## 戦略的な流通・販売

### ■「ぎふいちご」を若手がPR強化！

・JAぎふ岐阜市いちご部会と岐阜市にある菓子会社「長良園」が岐阜県農商工連携ファンド事業を利用し農商工連携を進めている。全国展開を強化するため、国の農商工連携認定を取得した。今後は、全国展開を見据えた上で、3月に行われるFoodexJapanに出展するなどPR活動を強化していく。

## 多様な担い手の育成・確保

### ■定年退職者・婦人部（かりもり栽培講習会）

愛知県や岐阜市内の漬物業者からの要望に応えるため、「かりもり」の栽培講習会を2月18日（月）にJAぎふ各務原中央営業所で開催した。

昨年の栽培上の問題点や課題を生産者と意見交換した後普及指導員が講師となり、栽培講習会を行った。

3月に肥料農薬注文を取り、5月15日に苗配布し、6月下旬から9月まで出荷し、売上げ目標100万円に向け取り組んでいく計画。



【かりもり研修会】

## 県民みんなで育む農業・農村

### ■女性農業経営アドバイザー 農協女性部

#### 大豆作りから豆腐まで（食農教育）

1月30日に農協女性部が本巣市の小学校で、親子での豆腐作りを支援した。大豆は子供たちが育てた大豆を使用した。

豆腐が固まる時間を利用し、女性農業経営アドバイザーがバランスよく食べる事の大切さについて講義した。



【豆腐づくりの様子】